

室内環境モニターSAM-CO2001B 補足資料

厚生労働省より良好な換気状態の基準として室内の CO2 濃度を 1000ppm 以下（外気の CO2 濃度はおよそ 400ppm）に保つことが推奨されています。

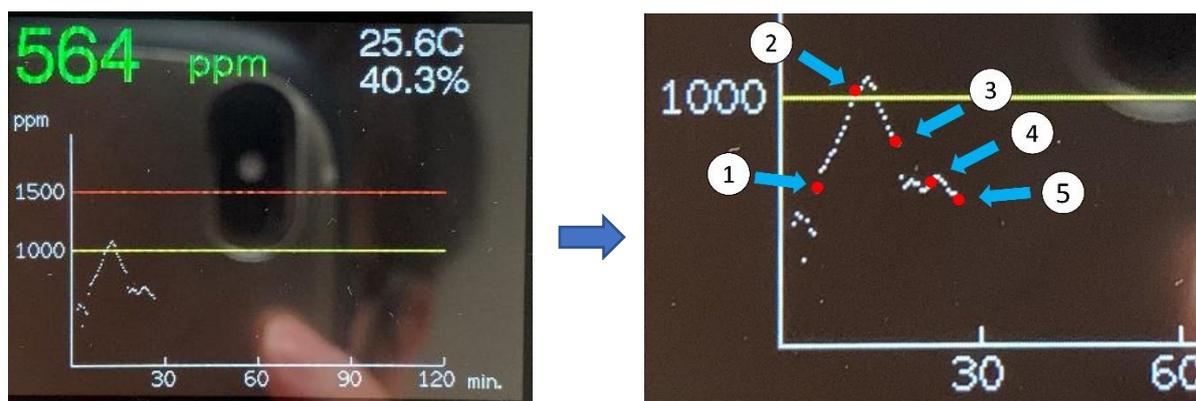
冬季は暖房効率の向上と換気の維持の両立が課題となりますが、弊社では本機 SAM-CO2001B を使用したシステムでオフィス内の換気状況を可視化し、効率的な換気を行うことによって、室内環境の維持に取り組んでいます。

またオフィス以外に社用車で本機を使用し換気状態を測る目安として使用しています。

■SAM-CO2001B 性能評価

使用車種：トヨタハイエース

乗車人数：2名



結果：

密閉した状態で計測を開始したところ、5分程度で車内のCO₂濃度が1000ppmを超えたので、エアコンの外気導入を実施。その後順調にCO₂濃度が低下していったがグラフ④前後で再び上昇傾向が見られたため窓開け換気を実施しました。

以上のように換気状況の可視化によって、定期的に窓開けを行い室内環境の維持に取り組んでいます。

本機は液晶部分(3×4センチ)にCO₂濃度、温湿度が表示されますが、大きな画面に表示されるものを作成するなど、お客様のご要望にあわせたシステムのご提案も可能です。

ご興味ございましたら、実際に実機をお持ちしてデモンストレーションにお伺いさせていただきますので、お気軽にお声がけ下さい。